



# スリランカ

生物多様性条約	1992/6/10 署名 1994/3/23 批准 1994/6/21 締約国
名古屋議定書	非加盟国
食料・農業植物 遺伝資源条約	2013/9/17 加入 2013/12/16 締約国

フォーカルポイント (条約事務局 HP 等の情報 : 最終アクセス日 2020 年 3 月 7 日)

- 1) 生物多様性条約(CBD) (URL: <https://www.cbd.int/doc/lists/nfp-cbd.pdf> 参照)
  - ① **Mr. Anura Dissanayake, Secretary (Political Focal Point), Ministry of Mahaweli Development and Environment**  
 No. 416/C/1, "Sobadam Piyasa" Robert Gunawardhana Mawatha Battaramulla, Colombo, Sri Lanka  
 Tel: +94 11 2034121, 2676844  
 Fax: +94 11 2879944  
 E-Mail: [sec@mahaweli.gov.lk](mailto:sec@mahaweli.gov.lk), [irdiv.envt@gmail.com](mailto:irdiv.envt@gmail.com), [liyanagedeepa@gmail.com](mailto:liyanagedeepa@gmail.com)  
 Web サイト: <http://mahaweli.gov.lk/>
  - ② **Mrs. R.H.M.P. Abeykoon, Director (Operational Focal Point) Biodiversity Secretariat, Ministry of Mahaweli Development and Environment**  
 No. 416/C/1, "Sobadam Piyasa" Robert Gunawardhana Mawatha Battaramulla, Colombo, Sri Lanka  
 Tel: +94 11 2034202  
 Fax: +94 11 2879972  
 E-Mail: [pathma66a@gmail.com](mailto:pathma66a@gmail.com), [irdiv.envt@gmail.com](mailto:irdiv.envt@gmail.com), [liyanagedeepa@gmail.com](mailto:liyanagedeepa@gmail.com)
- 2) 名古屋議定書 (NP) (URL: <https://absch.cbd.int/countries/LK/NFP> 参照)  
**Mr. Anura Dissanayake, Secretary (Political Focal Point), Ministry of Mahaweli Development and Environment**  
 No. 416/C/1, "Sobadam Piyasa" Robert Gunawardhana Mawatha, Battaramulla, Colombo, Sri Lanka  
 Tel: +94 11 2034121, 2676844  
 Fax: +94 11 2879944, +94 11 2676846  
 E-Mail: [sec@mahaweli.gov.lk](mailto:sec@mahaweli.gov.lk), [irdiv.envt@gmail.com](mailto:irdiv.envt@gmail.com), [liyanagedeepa@gmail.com](mailto:liyanagedeepa@gmail.com)
- 3) 食料・農業植物遺伝資源条約 (ITPGR)  
 (URL: <http://www.fao.org/plant-treaty/countries/membership/country-details/en/c/359381/?iso3=LKA> 参照)  
 掲載なし

権限ある当局 (条約事務局 HP 等の情報 : 最終アクセス日 2020 年 3 月 7 日)

- 1) 生物多様性条約 (CBD) (URL: <https://www.cbd.int/doc/lists/nfp-cbd.pdf> 参照)  
 掲載なし
- 2) 名古屋議定書 (NP) (URL: <https://absch.cbd.int/countries/LK/NF> 参照)  
 掲載なし

### 3) 食料・農業植物遺伝資源条約 (ITPGR)

(URL: <http://www.fao.org/plant-treaty/countries/membership/country-details/en/c/359381/?iso3=LKA> 参照)

掲載なし

※ITPGR 附属書 I 作物については、農業局が権限を有している。

## 遺伝資源関連法令の整備状況及び参考資料

- ・ “National Policy on Access to Biological Resources, sustainable Use and Benefit Sharing (2013 年 10 月)”<sup>3)</sup>において、生物資源へのアクセスに関する相手国政府の方針が示されているが、未だ国内法は策定されていない。(2019 年 3 月 14 日現在)
- ・ 植物遺伝資源センターでは、15,181 点の植物遺伝資源が保存されており、作物種ごとの保存点数もしっかりと管理されている。(2018 年 10 月)

## 遺伝資源を導入する際の手続きと留意点

- ・ 国内法令が存在しないため、相手国政府に確認しつつ遺伝資源の取得・利用の手続きを進めることが望ましい。(2020 年 1 月 30 日現在)
- ・ スリランカ農業局からは、ITPGR の標準素材移転契約書 (Standard Material Transfer Agreement: SMTA) の準用ではなく、独自の素材交換契約書 (Material Exchange Agreement: MEA) で契約したいとの要望があった。本事業においては、ナス 1 品種及びニンジン 4 品種 (どちらも ITPGR 附属書 I 作物) の日本への導入に向けて、スリランカ植物遺伝センターと MEA の取り交わしが 2020 年 1 月 29 日に完了した。
- ・ 今後、スリランカから我が国への導入と同時に、我が国の保存する遺伝資源のうちスリランカ農業局が希望するトウモロコシ 1 品種、トウガラシ 2 品種、トマト 2 品種の遺伝資源を提供する予定。

## 既存の枠組み

### 【合意の概要】

- ① 合意相手先機関：スリランカ農業局 (Department Of Agriculture :DOA)
- ② 合意年月日：2016 年 8 月 18 日
- ③ 目的：植物遺伝資源 (Plant Genetic Resources : PGR) の保全及び持続的利用に関する両国間の協力の強化及び促進。
- ④ 合意内容のポイント：
  - ・ 研究、育種及び商業化の促進を通じて両国に利益がもたらされるよう、植物遺伝資源の移転又は交換に関する相互に同意可能な条件の発展に協力。
  - ・ 上記に先立ち、DOA の推奨品種について、日本への移転のための手順を構築することに合意。
  - ・ 有効期間は、特に設定せず。

<sup>3)</sup>[http://mmde.gov.lk/web/index.php?option=com\\_content&view=article&id=775&Itemid=152&lang=en](http://mmde.gov.lk/web/index.php?option=com_content&view=article&id=775&Itemid=152&lang=en)